



〒160-0002 東京都新宿区坂町28-6 坂町ビル2F TEL 03-5919-3261
サービスツーリズム産業労働組合連合会 発行人 後藤 常康

ボランティア支援活動・新規支援決定

サービス連合中部地方連合会をつうじて、近畿日本ツーリスト労働組合の組合員が参加する「愛知ボランティアセンター」に対する支援要請がありました。

「愛知ボランティアセンター」は、阪神淡路大震災の際の活動をきっかけに活動を行い、現在は今回の東日本大震災被災者支援のため活動を行っています。（詳細は下記のとおり）

被災者に対し長く継続して支援する活動であることから、第2回四役・事務局合同会議（2011.9.16）および第2回中央執行委員会（2011.10.3）において年間10万円の支援を行うことを確認し、2011年10月よりボランティア支援活動としての支援を開始しています。

愛知ボランティアセンターの主な活動は以下のとおりです。

- ①名古屋でできるボランティア：応援物資の収集とお届け、被災者応援イベントの開催等
- ②現地ボランティア：医療相談、瓦礫撤去、仮設住宅への食事提供等
- ③ワンコイン・サポーターズ：震災遺児・孤児に対する奨学金による応援 など

ボランティア支援活動・支援申請受付中

「ボランティア活動支援制度」は、サービス連合の社会貢献活動の一環として、サービス連合組合員のボランティア活動への参加をバックアップする制度です。組合員の方が参加されているボランティア団体やNPO団体等に対して経済的支援をしています。組合員の方々からの積極的な応募をお待ちしております。

ボランティア活動支援制度（愛称：金太郎支援制度）

支援対象：サービス連合の正加盟組合の組合員が自らの意思で主体的に参加しているボランティア活動をしている団体（法人格の有無は不問）

支援内容：該当団体の年間活動経費の10分の1以内で1団体10万円以内。支援は原則3年間。

応募方法：以下の資料を添えてお申し込み下さい。

- 活動内容のわかるもの ○財政内容のわかるもの ○機関誌 ○規約
- 支援対象活動 ○組合員とのかかわり ○支援希望金額

審査基準：①自発性・自主性：他から強制・強要されることなく、規約・会則などを持っている団体・組織に組合員自らの意思で主体的に参加していること

②無報酬性：自分や組織・団体以外のもの（人・地域社会など）のために行う活動で、報われることを期待したり、収入を得るための活動でないこと

③継続性：一過性ではなく、計画的に継続性をもって活動を行っていること

応募先：○組合員の皆さんは、所属の加盟組合に申請を行って下さい。

○各加盟組合は、サービス連合地方連合会に申請を行って下さい。

募集期間：随時募集しています。

支援決定：四役会議で支援の可否を決定し、地連を通じて申請者に通知します。

支援が決定した場合は、年2回の活動報告の提出をお願いします。



森の町内会の利用について

森の町内会の利用方法



印刷会社を利用している場合

印刷会社と森の町内会事務局に森の町内会の紙を利用したい旨を伝えてください。

印刷会社を利用しない場合やコピー用紙の利用

ASKULでコピー用紙の販売をしています。

(三菱製紙八戸工場再開のためASKULでの取り扱いも再開されました。)

森の町内会利用組合 (2012年1月15日現在 サービス連合本部で把握した分のみ掲載)

- サービス連合本部・北海道地連・東日本地連・中部地連・西日本地連・九州地連・沖縄地連
- 都ホテルズ&リゾート労働組合連合会 ○都ホテルズ労働組合
- 帝国ホテル労働組合 ○KNTグループ労働組合連合会
- エムオーツーリスト労働組合 ○トラベル・エージェント・ワーカーズ・ネットワーク (TAWN)

上記以外で利用された加盟組合がありましたらサービス連合本部までご連絡ください。

年賀状など書き損じハガキの収集にご協力を

書き損じてしまったハガキやあまったハガキはありませんか？

あて名を間違えてしまったり、逆さまに印刷をしてしまったりしたハガキ、使わないで余ってしまったハガキを回収しています。

少量でも、どんなに古いものでも、大歓迎です。

サービス連合にお送りください。

みなさんからお送りいただいた書き損じハガキは、サービス連合を通じてユネスコに送られ世界寺子屋運動の一環として識字教育の手助けになります。

具体的には、50円の書き損じハガキが

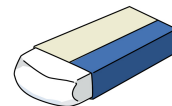
アフガニスタンではノート2冊

カンボジアでは消しゴム2個

ラオスではチョーク35本

ネパールでは鉛筆7本

になります。



送付先は、サービス連合本部もしくは各地連までお願いいたします。

10周年記念事業報告 Part.2

絆～メッセージ・フロム・ザ・ワールド～

サービス連合では、結成10周年記念事業としてユネスコの実施する「絆～メッセージ・フロム・ザ・ワールド～」の支援を行いました。最終的に、世界各国より東日本大震災で被災した子どもたちに3万通を超えるメッセージが集まりました。現地で受け入れた仙台ユネスコ協会の整理作業や東北大学の学生を中心とした翻訳など膨大な作業になったようです。よって、8月の七夕祭り期間中には一部のメッセージの展示となりました。各学校へメッセージを送付はようやく準備ができ、1月16日に最初の便を発送し、約200校の学校に順次送付されます。送付が完了した時点で、改めて日本ユネスコ協会連盟より報告がありますので、詳細については今しばらくお待ち下さい。

明日づくりプロジェクトのコーナーをサービス連合ホームページに開設しました。そちらも是非ご覧下さい。